

2022年1月26日（水）
インターネット世界旅行

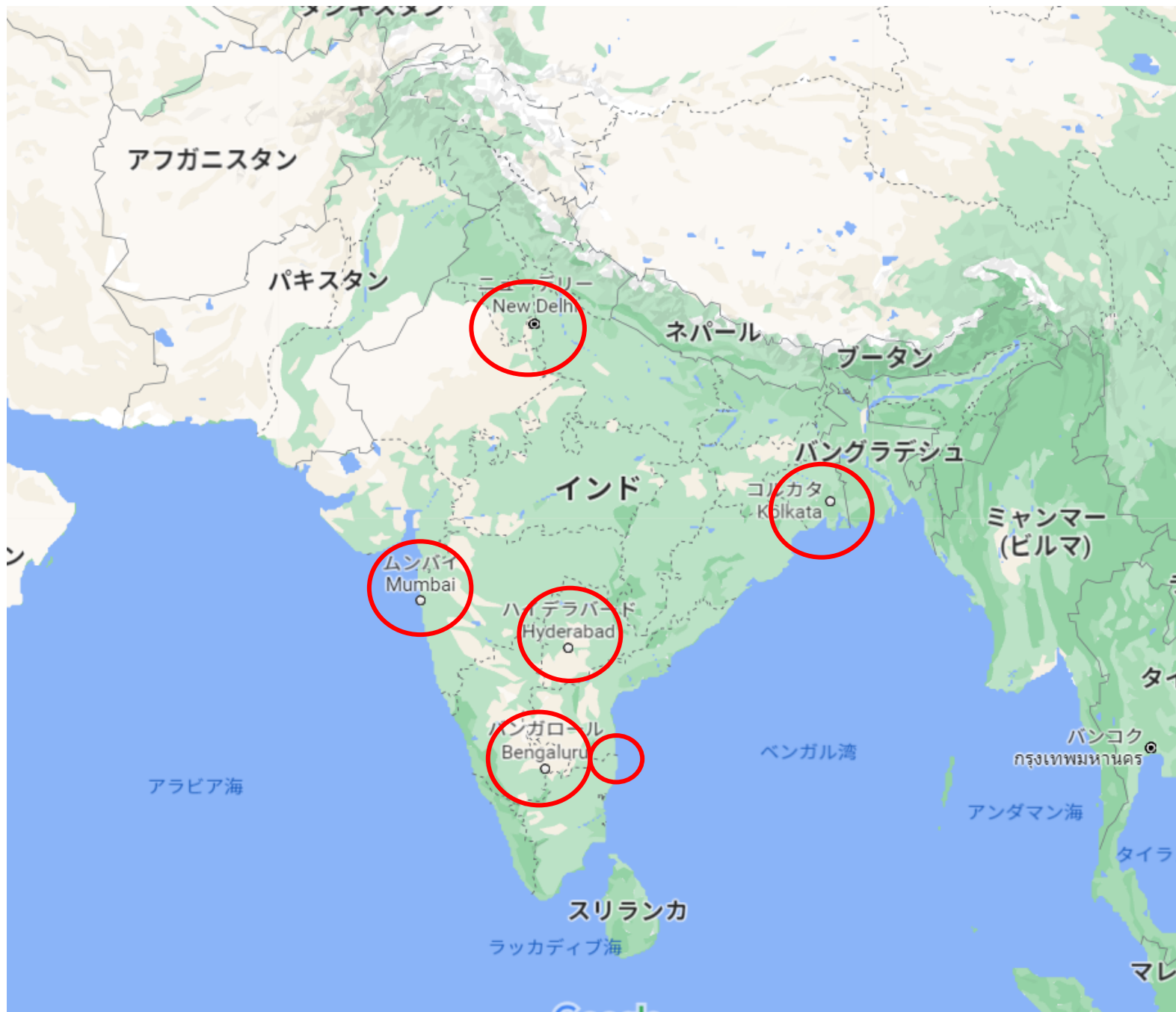
インド

デリー、ニューデリーの巻

吉岡 芳夫

インドの歴史

- インダス文明・ガンジス文明（紀元前2600年頃）
- 古代インドの諸王朝（紀元前4世紀後半）
 - マウリヤ朝マガダ国のインド統一
 - 大乘仏教のおこり（西暦1世紀はじめ）
- インド古典文化の完成（4世紀前半）
 - アジャンター石窟寺院の壁画グプタ朝の成立とヒンドゥー教の確立（5世紀）
- インドのイスラーム化と南インド（10世紀後半）
 - ポルトガルとスペイン（1498年）
- ムガル帝国（1526年～）
 - 英蘭の南インド進出（17世紀）
 - 英仏の進出と植民地抗争（1661年）
 - イギリスによる蚕食とインドの貧困化（18世紀後半）
- イギリス植民地時代（1858年から1947年まで）
 - インド大反乱と英領インド帝国の成立（1857年）
 - インド国民会議派の成立（1885年）
 - タタ鉄鋼で工業大国化（1907年）
 - 2度の世界大戦と
 - インド、ガンディーの登場（1919年）
 - 非暴力・不服従の運動
 - イギリス製品排斥や地税不払いなど多様な反英運動
 - イギリスは新インド統治法を発布
 - 第二次世界大戦後
 - 分離独立と戦後インド憲法の制定
立憲君主制のインド連邦として独立（1947年）
 - 非同盟主義
 - 印パ戦争と中印国境紛争
 - 核大国化
 - BRICsの一角（ブラジル、ロシア連邦、中華人民共和国）



インドの基本情報.

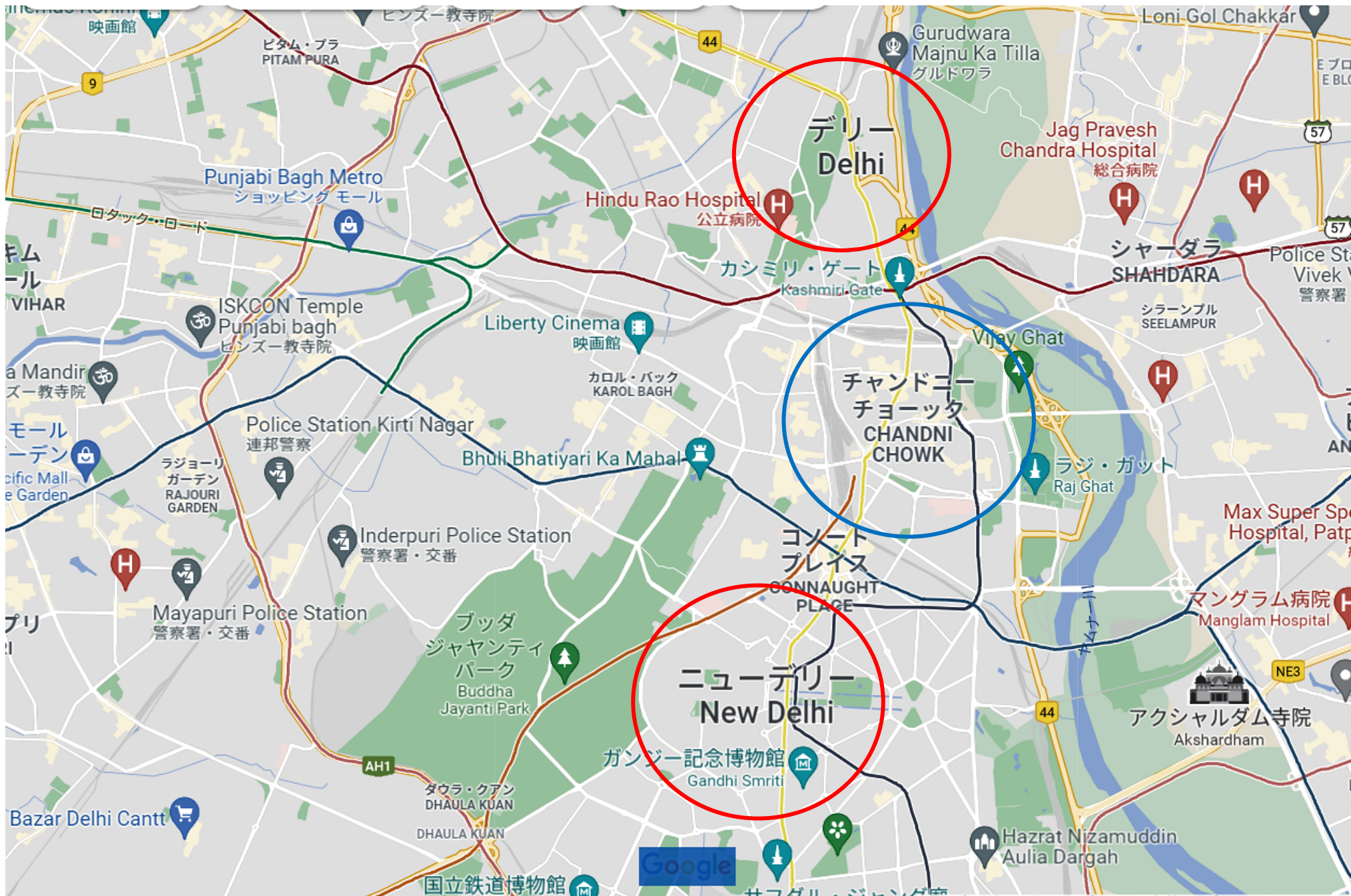
面積. 328.73万km² (日本の8.7倍)
(2017年)

人口. 13億3918万人
(2017年、国連推計)

首都. ニューデリー (2570万3000
人、2015年推計、世界年鑑) .

主要都市.

ムンバイ2,104万人、
コルカタ1177万人、
バンガロール1009万人、
チェンナイ962万人、
ハイデラバード894万人



ムガル帝国の栄華と終焉、 そしてインド独立を物語る「赤い城」

- 赤砂岩の城壁に守られた赤い巨大な城塞、世界遺産（文化遺産）に登録されている。
- 城内には、ムガル帝国時代、約5万7千名の人々が住んでいた。
- 南の門は、主に皇帝が宗教行事に出かける際に利用した。
- 西の門は「ラホール門」と称され、主に高官や使節、貴族、官僚などの通用門であった。
- ラホール門をくぐった先のチャッター・チャウクと呼ばれる通りには、主に宮殿に仕える女官たちのためのアーケード付きの城内商店街があった。商店街の近くには、刺繍や彫金などの職人の工房が数多く存在したとみられている。
- 商店街と職人の工房の先では、宮廷づきの楽士たちが、皇帝の登場を告げる音楽を奏でた。
- 公謁殿（ディーワネ・アーム）には、かつてルビーやサファイア、エメラルドなどの宝石がはめ込まれていた王座があり、ここで皇帝は毎日正午頃に、一般謁見を行った。

ロータス寺院



インドのデリーにあるロータス寺院は、**1986年12月**に奉納されたバハイ礼拝堂。花のような形で有名で、市内の有名なアトラクションになっている。すべてのバハイ礼拝堂と同様に、ロータス寺院は、宗教やその他の資格に関係なく、すべての人に開かれている。建物は**27個**の独立した大理石で覆われた「花びら」が**3つ**に集まって**9つ**の側面を形成し、高さ**34メートル**をわずかに超える中央ホールに**9つ**のドアが開いている。ロータス寺院は数々の建築賞を受賞しており、多くの新聞や雑誌の記事で取り上げられている。**2001年のCNN**のレポートでは、世界で最も訪問された建物と呼ばれている。

インド門



- インド門（全インド戦争記念）は、ニューデリーの「儀式の軸」の東端、キングスウェイと呼ばれる位置にある戦争記念碑である。
- 第一次世界大戦で1914年から1921年の間に亡くなったイギリス・インドアン軍の7万人の兵士、フランス、フランドル、メソポタミア、ペルシア、東アフリカ、ガリポリ、近東および極東の他の地域での第三の英・アフガニスタン戦争の記念碑として立っている。
- 13,300人の軍人の名前が、イギリスから来た兵士や将校を含む城門に刻まれている。
- この城門はエドウィン・ルティエン卿によって設計された。ローマのコンスタンティヌス大公などの凱旋門の建築様式を呼び起こす。パリの凱旋門、ムンバイのインド門とよく比較されている。

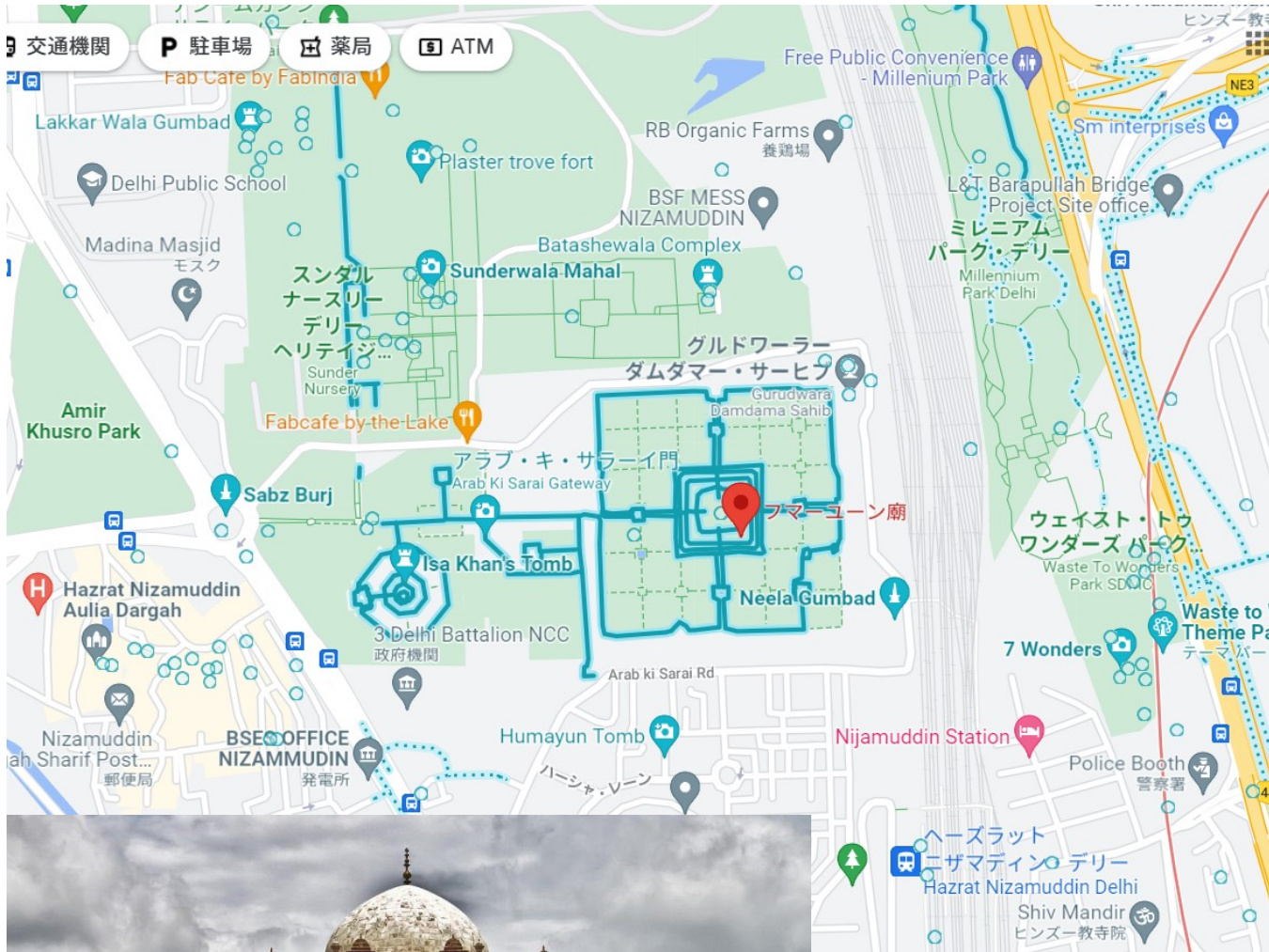
フマユーン廟 - Google マップ

最愛の妻に捧げた霊廟タージ・マハルが建つ100年前にも、インドでは配偶者の死を悲しむ王族の物語が残る霊廟がある。それが、インドの首都デリーの中心部東南端のプラナ・キラの南に建つ「デリーのフマユーン廟」。

「デリーのフマユーン廟」はムガル帝国の第2代皇帝フマユーン霊廟と庭園から構成されるインドの世界遺産だ。

フマユーン霊廟はその名のとおり、ムガル帝国第2代皇帝フマユーンの遺体が眠る霊廟。

典型的な庭園霊廟で、庭園も建物も左右対称の「庭園の中の廟」といわれる、インド初のムガル様式の霊廟として、1983年にユネスコ世界遺産に登録された。



[インド デリーでオートリキシャに乗ってみた！ デリー市内観光 - Bing video](#)

デリーの交通事情がわかる動画です。

インド デリーでオートリキシャに乗ってみた！ デリー市内観光

乗ってみた

後で見る 共有

6:25

6:36 / 13:02

YouTube



クトゥブ ミナールと 建築物

インド最大のミナレット（塔）
と各時代の遺跡が見られる。

この塔は高さが72.5mと圧巻。
奴隷王朝がヒンズー寺院を破壊
した時の石材で作られている。

庭園には、5世紀のグプタ朝時
代の鉄柱が今も残っており、錆
びない鉄として有名。

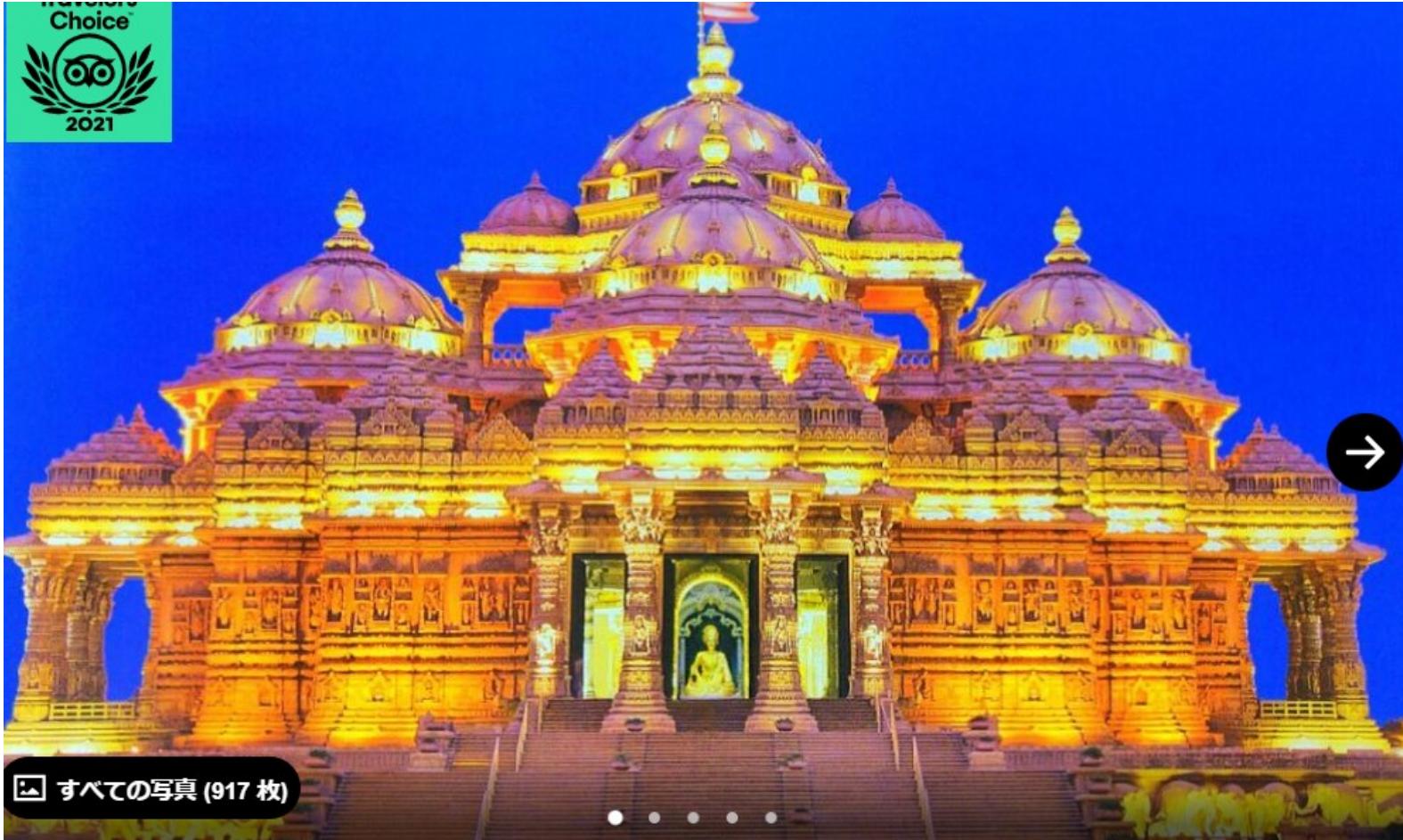
きれいに整備されているので、
安心して見学できる。

（1993年に世界遺産に登録）

デリーとニューデリーの違い

- インドの首都はデリー。しかしニューデリーが首都と教わった人も多いのでは？
- デリーとニューデリーはひとつの都市圏を形成している。東京で言うところの、旧15区に対して新生の23区といった区分に近い。
- デリーはインドの首都であり、どこの州にも所属していない行政直轄区域と定められている。その地域全体がデリーであり、その中にデリーと表記される旧市街にあたるオールドデリーと、ニューデリーが存在する。
- 政府機能施設などはニューデリーに集中しているので、首都がニューデリーといった解釈がこれまでされてきた。
- オールドデリーは日本の東京に例えるならば浅草や上野といった下町。一方でニューデリーは山の手。
- 正しくはデリーという大きな街があり、その中にニューデリーと呼ばれる一角があることになる。

アクシャルダム寺院



1968年当時、BAPSスワミーナーラーヤン教の教祖ヨーギー・マハーラージが、ヤムナー川岸に巨大寺院建築の建設を構想。

彼の死後、後継者のプラムクが構想の遺志を継ぎ、デリー開発局への申請を経て、正式に建設が決定。

2000年4月に開発局から24万平方メートルの土地を与えられ、同年11月8日に工事が着工。2005年に竣工し、同年11月6日をもって正式に開院した。

オープニングセレモニーには、マンモハン・シン首相も訪れるなどした。2007年12月17日に、**世界最大のヒンドゥー教寺院としてギネスブック**に認定された。

チャンドニー チョーク (月光の市場)

- ここでは、あふれかえる活気の中でインドの暮らしの根幹、地元の屋台フードを味わったり、掘り出し物を探して買い物を楽しんだりしながら、刺激と魅力に満ちた地区の雰囲気をつぶり感じることができる。
- チャンドニー チョークは、17世紀にムガル帝国の君主であるシャー・ジャハンが開設したバザールで、デリーの旧市街(オールド デリー)にある。
- このバザールの名は「どろぼう市」という意味を持ち、電化製品、ビンテージの衣類、アンティーク家具、香水など、さまざまな商品がずらりと並んでいます。
- お気に入りの物を見つけたら、地元の商人を相手に値段交渉のテクニックを試してみてください。

[チャンドニー チョーク - Bing images](#)



チャンドニー チョーク





2022年1月26日(水)
インターネット世界旅行

インド

デリー、ニューデリーの巻

終わり